

治あき曉あきへ

ラジオネーム…芙ふ由ゆ香か

今年も冬がやってきたよ。

私達が出会い、そして別れたこの季節。

私達が初めて出会ってから13回、別れてから4回目の冬。

初めて会ったのは忘れもしない、忘年会シーズンだったね。

職場の忘年会を一次会で抜け、一人で飲みたくなって

たまたま目に付いたバーに入って飲んでいた時、

あなたから声をかけてきたのが始まりだった。

よくドラマとかである、マスターの「あちらのお客さまから

です」という台詞と、チェリー・ブロッサムが入ったグラス。

「初めて来た子だね。いい場所でしょ？」

僕のお気に入りのお店だね。週に一回はここにきて、

一人でこうして飲んでるんですよ。」

そこからすっかり意気投合して、それ以降、何度かその

バーに通って、何度か会っているうちにお互い惹かれ合って。

結婚してからの二人の生活、あっという間に過ぎた感じ。

でも、そんな毎日が楽しかった。

あの一報を聞くまでは。

交通事故に巻き込まれた。しかも、即死だった、と。

それからのことは…正直、記憶が曖昧で。

でも、そんな中生まれてくれた息子…史季<sup>しき</sup>。

あのバーのマスターが考えてくれた名前。

「お二人の名前って、『治暁』と『芙由香』でしょ？

違う漢字に変換すると『春秋』と『冬夏』で、

四季を表しているじゃないですか。

だから、『四季』…ああでも、しっくりこないなあ。

お二人の歴『史』という意味も込めて『史季』と

いうのはどうでしょうか？」

上手いこと考えられなくてすみません、と

マスターは言っていたけれど、私はすっかり

気に入り、そのまま命名した。

当時はお腹にいた子が、春からは幼稚園に…って、

知っているか。(笑)

離れているけど、また三人で素敵な一年を過ごそうね。

リクエスト曲

＜ 365日のLove song / 岡本真夜 ＞